

第40回 日本化粧品学会 プログラム

日 時：2015年6月18日（木）、19日（金）
場 所：有楽町朝日ホール
東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン11F Tel.03-3284-0131
交 通：JR（山手線・京浜東北線）有楽町駅
東京メトロ（有楽町線）有楽町駅
東京メトロ（丸ノ内線・銀座線・日比谷線）銀座駅 下車徒歩1～2分
主 催：日本化粧品学会
協 賛：日本化粧品工業連合会
会 頭：藤井まき子（日本大）
副 会 頭：木曾昭典（丸善製薬）
大会参加費：会 員（事前）：10,000円、会 員（当日）：12,000円
：非会員（事前）：13,000円、非会員（当日）：15,000円
：学 生（当日のみ・要旨集込）：2,000円（要学生証提示）
懇 親 会：2015年6月18日（木）18：30～ 会費 8,000円
会場 銀行倶楽部
参 加 予 約：Web 受付 <http://www.jcss.jp/event/>
2015年3月6日～2015年4月28日（火）締切
問 合 せ 先：日本化粧品学会大会事務局
〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター
Tel.03-5389-6496 Fax.03-5227-8632
E-mail:jcss-desk@bunken.co.jp

メインテーマ：「温故知新～化粧品の未来を語ろう～」

2015年6月18日（木） 1日目

- 9:30～9:35 開会挨拶 会頭 藤井まき子（日本大）
総合司会：藤原延規（マダム）
- 9:35～10:05 会頭講演 座長：五十嵐敦之
化粧品 ―夢を追い、現実を見つめる― （NTT 東日本関東病院）
藤井まき子（日本大）
- 10:05～10:55 一般研究演題（I） 角層 4題（発表8分、質疑4分）
座長：打和秀世（カネボウ化粧品）
田中 浩（日本メナード化粧品）
- R01 角層セラミドによる肌性状の新規指標
○横瀬うらら¹,石川准子¹,諸隈由樹²,直江綾乃³,辻村 久³,藤村 努¹,森脇 繁¹
（¹花王・生物科学研,²花王・ヘルスビューティ研,³花王・解析科学研）
- R02 むれて乾くスキンケアプロセスによる角層成分の整理
○岩井一郎¹,原 祐輔¹,江川麻里子¹,國澤直美¹,八木栄一郎¹,平尾哲二¹,Lars Norlen²
（¹資生堂リサーチセ,²Karolinska Institute）
- R03 DART-MSによる角層 NMF 成分の迅速分析
○前野克行¹,島田治男¹,志田保夫²（¹資生堂リサーチセ,²山梨大）
- R04 示差走査熱量測定による角層細胞間脂質モデルの微細構造変化評価系の開発

○大成宏樹¹,五十嵐啓二¹,奥山雅樹¹,赤木千夏²,小幡誉子²,高山幸三²
(¹コーセー研,²星薬大)

10:55~11:45 一般研究演題(Ⅱ) 皮膚生理・有効性 4題(発表8分, 質疑4分)
座長: 徳留嘉寛(城西大)
横山浩治(ポーラ化成工業)

R05 UVAにより可視化される色素斑と毛穴周囲の黒化について

○秋田浩孝¹,小川直美²,鈴木博²,佐々木茜³,當山亜利沙³,水谷多恵子³,岡野由利³,
正木仁³,松永佳世子¹ (¹藤田保健衛生大,²インテグラル,³東京工科大)

R06 The effects of citrus flavone nobiletin on melanogenic cytokines-induced pigmentation

○Hyo Jung Kim¹,Takayuki Yonezawa¹,Toshiaki Teruya², Byung-Yoon Cha¹, Je-Tae Woo^{1,3}
(¹Chubu University,²University of the Ryukyus,³Okinawa Research Center)

R07 アスコルビン酸誘導体 3-O-ラウリルグリセリルアスコルビン酸の細胞内抗酸化成分合成促進作用

○勝山雄志¹,壺井辰哉¹,中村清香¹,平徳久¹,正木仁²,吉岡正人¹
(¹成和化成,²東京工科大・応用生物)

R08 低刺激性洗顔料-セラミド機能成分配合保湿剤のコンビネーション使用は、乾燥・敏感肌を
伴う座瘡に対して有用である

○高木豊¹,磯田憲一²,関幹¹,井上陽介¹,西坂崇宏¹,田邊久輝¹,石田耕一¹,水谷仁²
(¹花王・研,²三重大・皮)

11:45~13:45 昼休み(120分)

11:50~12:50 ポスターセッション①

(以下の3演題の発表者は、ポスター前で、1時間、責任在籍)

P01 逆相 LC-マルチイオン化質量分析法による角層細胞間脂質網羅解析技術の開発

○辻村久¹,井上陽介¹,直江綾乃¹,近藤直樹¹,横瀬うらら²,石川准子²
(¹花王・解析科学研,²花王・生物科学研)

P02 紫外線照射された3次元培養皮膚モデルにおける MMPs の評価

○窪小谷淳一,岩根直紀,大串明子,鳴嶋啓介(ハリウッド)

P03 皮表角層水分量による水中油型と油中水型の保湿力の考察

○久保忠一(法人床ずれ研)

13:45~13:55 理事長挨拶 川島 眞(東京女子医大)

総合司会: 藤原延規(マンダム)

13:55~14:55 一般研究演題(Ⅲ) 製剤 5題(発表8分, 質疑4分)

座長: 高山幸三(星薬大)

猪股慎二(資生堂)

R09 ロドデンドロールの有害事象の再発防止を目的とした皮内動態解析

○小田郁花, Wesam R. Kadhum, 藤堂浩明, 杉林堅次(城西大・薬)

R10 製剤成分の皮膚刺激性と細胞間脂質の構造変化の関連

○小幡誉子¹,赤木千夏¹,太田昇²,大貫義則¹,高山幸三¹ (¹星薬大,²SPRING-8/JASRI)

R11 MRIを利用したエマルジョン化粧品の乳化状態の評価

○黄田千尋,大貫義則,小幡誉子,高山幸三(星薬大)

R12 S/O技術によるヒアルロン酸の油状ナノ分散化とその経皮吸収特性

○後藤雅宏,出口奈緒,神谷典穂(九州大・工学研)

R13 難皮膚移行性の油溶性化粧品有効成分の皮膚移行性に製剤中の油剤が与える影響

○坂田修^{1,2},藤井まき子³,小泉直也²,中出正人¹,亀山浩一¹,渡辺善照²
(¹コーセー研,²昭和薬大,³日本大)

14:55~15:10 休憩(15分)

- 15:10～17:40 シンポジウム I 化粧品『過去を知り、未来を語る』
座長：常深祐一郎（東京女子医大）
木曾昭典（丸善製薬）
1. 「レギュレーションと安全性の歴史の変遷」
吉田武美（薬剤師認定制度認証機構）
 2. 「有効性の歴史の変遷」
長沼雅子（武蔵野大）
 3. パネルプレゼンテーション（10分×4名）
前澤大介（癸巳化成），澤田美月（東京女子医大），
藤堂浩明（城西大），江川麻里子（資生堂）
 4. パネルディスカッション
パネラー：吉田武美，長沼雅子，
前澤大介，澤田美月，藤堂浩明，江川麻里子
司 会：常深祐一郎，木曾昭典
- 17:40～ 案内 総合司会：藤原延規（マンドム）
- 18:30～ 懇親会（銀行倶楽部）

2015年6月19日（金） 2日目

- 9:30～10:00 総会
- 10:00～11:15 一般研究演題（IV） 太陽光と皮膚・安全性 6題（発表8分，質疑4分）
座長：渡辺晋一（帝京大）
小出千春（コーセー）
- R14 紫外線による真皮線維芽細胞における小胞体形態変化と皮膚光老化との関連性
○山羽宏行，田中 浩，八代洋一，中田 悟（日本メナード化粧品・総合研）
- R15 光老化におけるコラーゲンレセプターEndo180の関与
—Endo180発現に対する紫外線の影響—
○岩橋弘恭¹，川嶋善仁¹，正木 仁²（¹丸善製薬，²東京工科大）
- R16 紫外線照射により角層から生成される活性酸素について
○水谷多恵子，角田 聖，岡野由利，正木 仁（東京工科大・応用生物）
- R17 太陽紫外光に即応した角層ウロカニン酸の異性化応答
○山下裕司，小原わかな，橋本陽輔，大高泰靖，坂本一民（千葉科学大・薬）
- R18 ブルーライト照射による皮膚内での酸化ストレス誘導
中島裕也，太田成男，○WolfAlexander（日本医大・老人病研・生化学）
- R19 動物実験を用いない化粧品の生殖発生毒性評価に向けたアプローチ
○久木友花，相葉摩紀，足利太可雄，上月裕一（資生堂リサーチセ）
- 11:15～13:00 昼休み（105分）
- 11:20～12:20 ポスターセッション②
（以下の4演題の発表者は、ポスター前で、1時間、責任在籍）
- P04 表皮性ブドウ球菌に対するグリチルレチン酸類の抗菌作用に関する研究
○池内慎悟¹，中原達雄¹，松尾美樹²，小松澤均²（¹丸善製薬，²鹿児島大・歯学総合研究）
- P05 マンダリンオレンジエキスの表皮構造強化機能及び、角層透明感改善作用

- 榎谷晃明^{1,2},カザール ボロン ビスワス¹,小島弘之¹,伊藤賢一¹
(¹一丸ファルコス,²岐阜大・連合創薬医療情報研究)
- P06 DNA ポリメラーゼ活性に着目したケラチノサイトの紫外線ダメージ修復促進物質スクリーニング法の確立
○白武佐和子¹,中原達雄¹,水品善之² (¹丸善製薬,²信州大・農)
- P07 α-エチルグルコシドの新規保湿機能
○坊垣隆之^{1,2},尾関健二² (¹大関・総合研,²金沢工業大)

13:00~13:45 特別講演 座長：藤井まき子（日本大）
探査機「はやぶさ」による小惑星イトカワの試料と質量分析技術
長尾敬介（元・東京大）

13:45~15:10 一般研究演題（V）皮膚生理・性状 7題（発表8分，質疑4分）
座長：関東裕美（東邦大）
川田裕三（花王）

- R20 メラニンキャップ形成後のメラノソーム細胞内挙動の検討
○三輪隆博,坂田 綾,本川智紀（ポーラ化成工業）
- R21 皮膚の血管リンパ管機能に関連する遺伝子の概日リズム性発現
○合津陽子,土師信一郎（資生堂リサーチセ）
- R22 日本人由来の培養脂腺細胞の皮脂産生調節に関する基礎研究
○秋元賀子¹,宮川卓也²,岸 晶子²,林 伸和²,佐藤 隆¹
(¹東京薬大・薬・生化学,²虎の門病院・皮)
- R23 同一供与者由来真皮線維芽細胞における加齢による小胞体分子シャペロンの発現変化
○小林豊明¹,加治和彦¹,尾之上聡¹,林 昭伸¹,畦地拓哉²,輪千浩史² (¹コーセー,²星薬大)
- R24 ヒト毛髪由来の多様なケラチンフィルムの作製とその性質
○藤井敏弘,林 香,伊藤弓子（信州大・繊維）
- R25 顔面美容への画像解剖学的貢献：若年者と高齢者の下眼瞼膨隆の差異に関する分析
○奥田逸子^{1,2},秋田恵一³,白壁征夫⁴,中島康雄²
(¹国際医療福祉大学三田病院・放射線診断セ,²聖マリアンナ医科大・放射線医,
³東京医科歯大・臨床解剖,⁴サフォクリニック・美容外科)
- R26 顔面美容への画像診断学的貢献—顔面表在構造物に関するMRI解析法の検討—
○阿部克弘¹,奥田逸子²,熊澤ゆみか³,中島康雄⁴,秋田恵一⁵
(¹山王メディカルセ,²国際医療福祉大学三田病院・放射線診断セ,
³国際医療福祉大学三田病院・放射線室,⁴聖マリアンナ医科大・放射線医学,
⁵東京医科歯大・臨床解剖)

15:10~15:25 休憩（15分）

15:25~16:55 シンポジウムⅡ 化粧品『未来に続く最先端科学』
座長：世喜利彦（上武大）
藤原延規（マンダム）

1. 「生体イメージング技術を用いた外来抗原に対する免疫応答の解明」
梶島健治（京都大）
2. 「オートファジー関連分子による皮膚上皮細胞の分化調節」
森山麻里子（近畿大）
3. 「リスク・ベネフィットコミュニケーション」
山本美智子（昭和薬大）

16:55~ 閉会挨拶 次期会頭 五十嵐敦之（NTT 東日本関東病院）
総合司会：藤原延規（マンダム）